

4/20 7時半

4回目 高齢、基礎疾患者

コロナワクチン 接種対象絞る 政府方針

新型コロナウイルスワクチンの4回目接種について、政府は高齢者や基礎疾患のある人を主な対象とする方針であることが19日、関係者への取材で分かった。厚生労働省は27日にワクチン分科会を開き、専門家の意見を聞いた上で結論をまとめる。専門家の中には医療従事者らも対象に加えるべきだとの声があり、さらに検討を進める。

では4回目接種の効果が低いとの報告があることや、海外でも高齢者が中心になつていることが理由。幅広い年齢層を対象に進めてきたコロナワクチン接種の在り方が、4回目接種では大

きく変わる可能性がある。国内で主力となっている米ファイザーや米モルナのワクチンは、3回目接種から時間が経過すると効果が弱まることが指摘されて

いる。このため厚労省は4回目接種の検討を進めてきた。政府は5月下旬をめどに、自治体に対し接種券や会場の手配などの準備を進めようとしており、そ

の後、接種を開始する方針。接種間隔は6カ月以上が基本だが、短縮する案もある。

オミクロン株の流行中に先行して4回目が始まったイスラエルでは、60歳以上を対象に3回目から4カ月以上空けて4回目を接種した場合、3回のみの人と比べて感染率は半分に抑えられたなどとする研究がある。